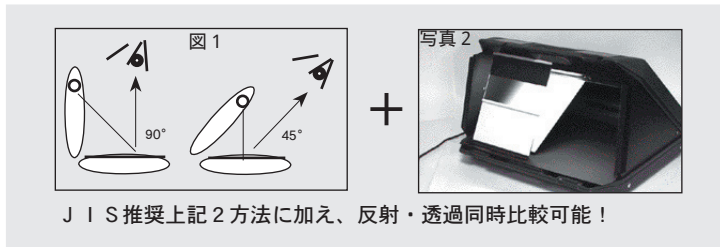
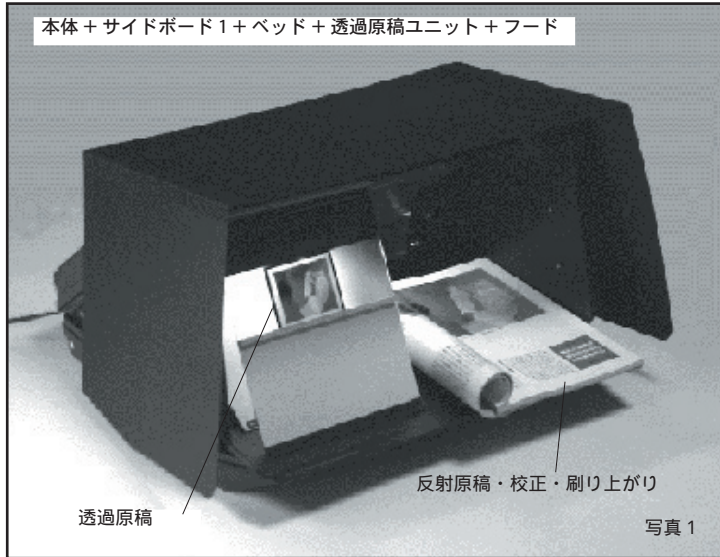


●はじめに光ありき！見ること、その存在・色に徹底こだわれば・・・モニタ調整対応！●そして閉じればA3バッグ！

# <RW 標準カラービューアー・M-1>



●目的・用途：物体色の厳密色判定、色校正、カラーマッチング・モニタ調整をはじめとするカラーマネージメントのための標準的照明装置。  
 ・あらゆる反射色及び透過色の厳密色判定・検討。比色、等色、測色に。  
 透過原稿と反射原稿の同時比較、小物の鑑賞、展示、撮影に。  
 ●特長：高演色性色評価用AAA蛍光灯（10W 1灯をA3アタッチメント型ケース（ポリプロピレン製）に内蔵。約45度開口状態①②（微調整可）において反射・鑑賞。透過原稿ユニット使用で同一光源による透過・反射原稿の同時比較・色校正可能。90°開口状態③にて45°照明、俯瞰観察、撮影可。同倒立状態④にて上方照明、45°観察、展示、撮影可能。●モニタ対応照度調整用NDフィルター（サイズ：105×330、濃度0.15、0.3、0.6、3枚）常備。組み合わせにより使用モニタに応じて明るさを5段階に調整可能。  
 上記可能な1～6までの付属品付き。（裏面参照）

●オプション：  
 ・CIE対応色温度変換用フィルターセット（LB4枚、サイズ：105×330）により色温度をCIE：ABCD光源相当5段階に調整可能。：一式：6,000円  
 ・M-1追加蛍光ランプ装置（同一の10Wランプ、ソケット、コードSW付き）（注：③状態において◎位置に追加可能。）：一式：10,000円

●色関連製品のご紹介

★<RW CMYカラースケール>EK社CC使用色のモノサシ（Handy:39,000円、CIE-M ac3.5FDソフト：20,000円）併用により、透過色と反射色の視感測色、比色、等色を可能。ソフト使用によりフィルター値からCIE、xy、Labデータ、更にHV/C変換値（C光源）を検出。Lab値検出により視感測色→モニタ・デジタル化を世界ではじめて実現。

★<RW標準グレイ・プレート>（4,800円）使用により、モニタ厳密色調整対応可能。

★<RW プロスキャン-7 Bセット>（19,800円）：プリントアウトで色を確実にコントロール可能など、すでに用意されたRWの数々のアイテムにより測色からカラーコントロール、カラーマッチング、カラーマネージメントのすべてで色の取り扱いを根本

・光色・明るさ・形もフレキシブル！

図2 ○印はランプ位置



<仕様>

●ケースサイズ：390×450×95：ポリプロピレン製

・組み立てサイズ：最大約450×450×450

●セット可能な原稿サイズ：

・反射原稿単品（カラープリント：14X17インチサイズ以下、デジタルプリント、印刷物：A3サイズ以下）

・透過原稿（5×7インチサイズ以下）

●明るさ：750lx～3000lx（ランプ直下位置）ランプの位置、テーブル位置により変化。正確な照度は照度計、または露出計で判定して下さい。

●照明に用いる光源：JIS規定の標準の光D50に近似した常用光源。色温度：約5000度K（印刷学会推奨ランプ使用）別売フィルター（LB・ND）着用で、CIE：ABCD光源色温度及び明るさを5段階に調節可能！（裏面参照）

●照明及び観察の方向：JIS規定（JIS Z 8723-1988）に準拠。

●1）上方照明：法線（上方）から照明し、約45°方向から表面反射のない状態で観察可能。2）45°照明：約45°方向から照明して法線（上方）

価格：付属品とも一式：68,000円

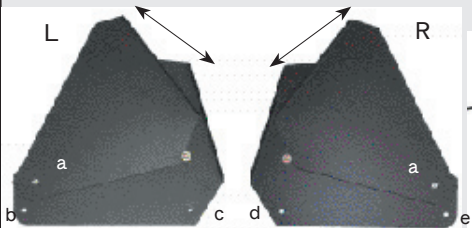
・別売・追加蛍光ランプ装置一式：10,000円

・色温度変換フィルター（4枚セット）：6,000円

# ●RW 標準カラービューアー・M-1 一覧

## 1: サイドボード 1 LR

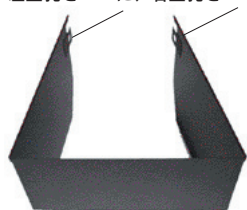
黒塩ビ 1 ミリ板 2 枚を 支点 a を軸に回転、高さ調節可 (ストッパー付)。



両側壁とストッパー L R の間に差し込み、b c を L 2, 3 に、c d を R 2, 3 ピンにセット。

## 2: サイドボード 2

左上孔を L 1 に、右上孔を R 1 に差し込



(黒塩ビ 1 ミリ) ストッパー L R に差し込み、左下孔を L 2, 3、右下孔を R 2, 3 ピンにセット。

・ランプ装着ずみ位置  
・フィルター装着位置

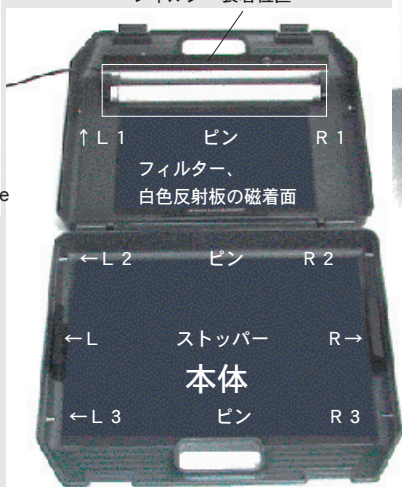


図 3

## 3: フード

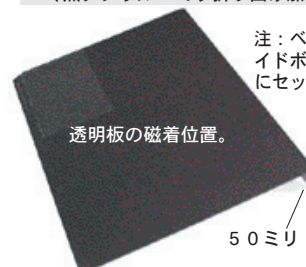


### ●付属品

- 1) サイドボード 1
- 2) サイドボード 2
- 3) フード
- 4) ベッド
- 5) 透過原稿ユニット (5-1 ~ 4)

## 4: ベッド (433 × 350 × 2 t)

(黒アクリル 2 ミリ折り曲げ加工)



注: ベッドはサイドボードの後にセット。

### ■組み立て方

ケースを完全に開き、収納されている上蓋部から 3) フード、下蓋部から サイドボード 1, 2, 4) ベッド、5) アタッチメントバッグ (透過原稿用ユニット) すべてを取りだし、1 から 6 までの各部品が揃っていることをご確認ください。

#### ●45° 開口 (①、②の場合)

1) サイドボード 1 の L R 2 枚を折り曲げ部を外側にケース左右の側壁とストッパーの間に立てて挿入し前後のピン孔を各 L R 2, 3 ピンにセット。

2) ベッドの先端が手前のフック部にくるようセット。

3) 上蓋を降ろし、サイドボード先端が上蓋内側左右にあるピン (L 1, R 1) を支えるようにセットします。

・ランプ位置 (高さ) 調節: ランプ位置は取っ手を上にずらし、サイドボードの外側に上にスライドさせることにより、照明位置、高さを合計 3 段階に調節できます。大型原稿ほどランプ位置を高くセットします。

標準的には、J I S 指定の 1 に相当する、上蓋が 45° 近辺で原稿を上方から照明する状態①で、約 45° 方向から観察します。上蓋が垂直 (直角) に近くなる場合は、表面反射が生じない角度、つまり上方に近い位置から観察します。(図 1、図 2 参照)

#### ・透過・反射原稿の比較、校正、色判定

4) 透過原稿用透明板 (5-2) 上蓋を蛍光灯ソケットの金具面、下はベッドの左側に適当角度で磁着、裏側に白色反射板 (5-1) をマット面を上蓋磁着部に上蓋磁着部に適度角度で磁着させて下さい。(写真 1-1、-2 参照)

この状態で写真 1-1 のようにポジ透過原稿と校正刷り・刷り上りを厳密に比較検討することが可能になります。

#### ●90° 開口 (③、④の場合)

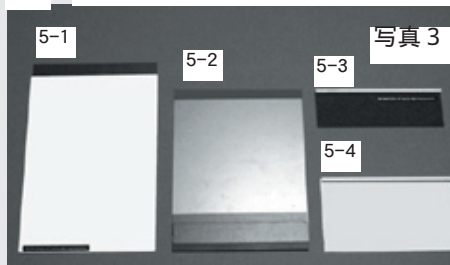
③の場合は、サイドボード 2 下を下蓋ストッパー L R に差し込みながら、左下孔を L 2, 3、右下孔を R 2, 3 に差し込んだ後に 左上の突起部孔を L 1 に、右上突起部の孔を R 1 に差し込み、ベッドを置きます。この状態で、本体装着と同じ追加照明が可能です。(図 2 参照)

③からベッドをとって倒立させれば④が可能です。

●モニタ対応の照度調整: 適当 ND フィルターで減光し原稿とモニタの明るさが一致するよう RW 標準グレイプレートを使用し照度を調節して下さい。

・小物、プロダクト製品展示にはベッドを除去し、ケース底に置いて展示・撮影可能。照明を C I E : A B C D 相当

## + 5: 透過原稿ユニット・セット



- 5-1: 白マット反射板 (235 × 175 × 2 t) : 上端を上蓋内側に磁着保持させるゴム磁石付き。
- 5-2: 透明保持板 (220 × 175 × 2 t) : 下端をベッド左下に、また表面下部にスライドホルダーを磁着させるゴム磁石付き。
- 5-3 自在磁着式スライドホルダー 1
- 5-4 自在磁着式スライドホルダー 2

## + 6: ND フィルターセット:

(サイズ: 105 x 330、濃度 0.15、0.3、0.6) 3 枚 5 段階調整可能。

### ■照度・色温度変換フィルターのセット方法

下記フィルターを選び、図 4 のようにセットして下さい。

(ゴム磁石は蛍光灯ソケット図位置に付属)

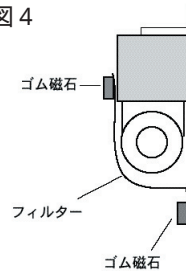
#### ●(付属) ND フィルターと減光効果

- 1) 15 (0.15) : → -1/2 絞り近似
- 2) 30 (0.3) : → -1 絞り近似
- 3) 60 (0.6) : → -2 絞り近似

#### ●(別売) L B フィルター使用の近似 C I E 標準光源

- 1) A : → A 光源 (2854K) 近似
- 2) C (D 55 併用) : (2+3) → C 光源 (6740K) 近似
- 3) D 55 : → D 55 光源 (5500K) 近似
- 4) D 75 : → D 75 光源 (7500K) 近似 (・フィルター使用しない状態は B 光源 (4870K) に近似。)

図 4



脇色彩写真研究所



〒185-0013 東京都国分寺市西恋ヶ窪 1-12-2 TEL/FAX 042-323-5710

<http://www.mmjp.or.jp/rwicp>

＜RW標準カラービューアー＞（付属）減光用

NDフィルター・セットの使い方

- カラービューアーの明るさを、モニタの明るさとバランスさせることができます。
- フィルターの種類：
  - 1：15 ND（透過濃度 0.15）減光効果 → 約 -1/2 絞り
  - 2：30 ND（ " 0.3） " → 約 -1 "
  - 3：60 ND（ " 0.6） " → 約 -2 "
- ＜RW標準カラービューアー＞内に白い紙を置き、モニタの白と比較し調節して下さい。  
厳密には＜RW標準グレイ・プレート＞（デジタルグレイ基準付き）を使用して入射光メーター、  
スポット測光可能な一眼レフカメラで測光し調節して下さい。 以下はその目安です。
  - ①ビューアーがモニタより、約 1/2 絞り明るいときは → 1 = 15ND
  - ② " 1 絞り " → 2 = 30 "
  - ③ " 1 絞り 1/2 " → 1+2 = 45 "
  - ④ " 2 絞り " → 3 = 60 "
  - ⑤ " 2 絞り 1/2 " → 1+3 = 75 "
  - ⑥ " 3 絞り " → 2+3 = 90 "

RW INSTITUTE OF COLOR AND PHOTOGRAPHY

＜RW標準カラービューアー＞用（別売）色温度変換用

LBフィルター・セットの使い方

- カラービューアーの色温度をCIE標準光源の色温度に近似した光質に変換することができます。
- この＜RW標準カラービューアー＞はフィルターを使用しない状態では色温度約5,000K、CIE標準光源では、B光源（4870K）に近似しています。
- フィルターの種類、及び使用した場合の近似色温度：
  - 1)・A： →A光源（2854K）近似
  - 2)・C（D 55 併用）：（2+3） →C "（6740K）"
  - 3)・D 55： →D 55 "（5500K）"

RW INSTITUTE OF COLOR AND PHOTOGRAPHY